

## 第3回LSP講演会について



**実施日** 9月26日(土)3・4限

**講師** 京都大学大学院法学研究科  
教授 土井 真一 氏

**演題** 『法学部で学ぶ』

**対象** 1年生～2年生 生徒 約640名

### ご講演の様子

法学部ではどのようなことを学ぶのか、法学部にはどのような人が向いているのか等についてわかりやすくお話いただきました。また、「協力すること」について、様々なたとえ話を織り交ぜながら、その重要性についてお話いただきました。

私たちは、人と協力することの大切さを漠然とは認識しているのですが、なぜ協力することが大切なのかについて深く考えたことはあまり無かったのではないのでしょうか。

今回、土井先生には、「協力の利益」、「何が協力を妨げるか?」、「協力のための公正な条件」等の資料を元に、重要性をお話いただきました。土井先生のお言葉の中で、「自分にない長所の人と仲良くすることが大切」や「秀でた芸がなくすべて平均的であることも素晴らしい個性である」等に共感を覚えた生徒も多くいたようです。

### 生徒の感想より

\* 法学部は自分とはほぼ無縁の学部ですが、どのような講演をなさるのかとても興味がありました。法学部は文系の学部ですが、とても楽しく講演を聞いていられました。人間関係や信用などとても身近に感じられる話も多く、法学部に対する少し堅いイメージがなくなり、思っていたよりも関心を持つことができました。友人や自分の周囲の人にも様々な個性があり、それぞれに長所と短所があるので、改めてそれらを認め、補い、のばしていけると良いと思いました。お互いが信頼しあい、支え合って行くと言うことは簡単ではないと思いますが、人間関係を大切にしていこうと思いました。

\* 「自分と異なる者は、自分を補い自分の可能性を広げてくれる」この言葉がとても響きました。考えていることが似ている人とばかり関わるのは、自分と違う意見から逃げているという事なのかなと思いました。これから自分と違う長所と短所を持つ人と出会い関わり、より自分の長所短所に気づいていけたらいいなと思います。そして、人を信じることは簡単に思えて難しいことです。私自身、信じていたことと事実が違い裏切られたと感じたことが何回かあり、人を信じるのが怖くなってしまっていました。でも、信じられるそんな人間関係を築き、友達を大切にしたいと思いました。素晴らしいご講演をありがとうございました。